

第6回木曾三川ふれあいセミナー 主なご意見

ご意見を頂いた方法	開催場所	分類	頂いたご意見	頂いたご意見に対する考え方
第6回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	可児市総合会館	オオキンケイギクについて	新川ではオオキンケイギクはキレイだからということで住民が植えたりしている。	オオキンケイギクは在来種に影響があるということで、特定外来種に指定されていますので、育てたり種をまいたりすることは法律で禁止されています。オオキンケイギクは育ててはいけないことを知っていただくようにしなければいけません。（国土技術政策総合研究所）
第6回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	可児市総合会館	オオキンケイギクについて	駆除手法でオオキンケイギクを抜くのに手でつまんで抜いているのか？何か工夫された道具を使っているのか？	最初は手で抜いて、大きなものはシャベル行っています。根茎がより抜きやすくなるようなこととか何か改良することができればもっと効果がでるのではないかと思います。（国土技術政策総合研究所）
第6回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	可児市総合会館	オオキンケイギクについて	ススキが生えている箇所はオオキンケイギクは侵入していない。オオキンケイギクに負けないススキ河原にしよう。ヤナギ類を植えたり、セイタカアワダチソウとケンカさせるなどという方法もあるのではないかと。	河原植物を増やしたいところ以外は、ススキやチガヤに頑張ってもらうとか在来種も活用していく方法はいいのではないかと考えています。（国土技術政策総合研究所）
第6回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	可児市総合会館	特定外来魚駆除実験について	東海環状道路のインターの工事で二枚貝保護のため（中池に）移動させたという話を聞いた。その中池が現在では多くの外来魚が侵入している。名古屋では6箇所の池調査を行って、たくさんの外来魚がいた。岐阜の皆さんもがんばってください。	来年も引き続き特定外来魚駆除活動を行う予定です。その際にはぜひ皆様のご援助をいただきたいと思います。（木曾三川フォーラム）
第6回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	可児市総合会館	特定外来魚駆除実験について	あるダム湖ではブルーギル等の駆除に、電気ショックというバッテリーで仮死させて採るということを実験的にやっている。	効果的な駆除方法をいろいろ教えてください。（木曾三川フォーラム）
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	特定外来種について	特定外来種の駆除は重要なテーマ。ぜひ続けて欲しい。	オオキンケイギクやブラックバスなどの特定外来種の駆除は、行政としてはなかなか事業化することができないため、このようなNPOや市民の皆様等の活動が大切であります。このような活動や意識をどんどん広げることにより達成されるものだと思います。
第6回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	可児市総合会館	木曾川渡し場遊歩道について	竹の病気であるテングス病対策は何かされているか。テングス病には有効な薬がないため、病気になった竹は切り倒して燃やしやすい。チップにすると他の竹へ伝染してしまう。	病気になった竹はどんどん伐採して、新しい竹を保全しています。（木曾川左岸遊歩道友の会）
第6回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	可児市総合会館	木曾川渡し場遊歩道について	遊歩道友の会からの説明に、整備や維持のために伐採した竹を利用して、竹チップを歩道に敷き詰めたりしているが、その他利用方法はないか。	竹のチップは抗菌作用があるため馬小屋の下に敷き詰めるなどしたりしています。また、竹炭にしたりしています。（風と土の会）
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	木曾川渡し場遊歩道について	ボランティアであれだけ立派な遊歩道を作られたのは、すばらしいと思います。竹チップの馬への利用は良いと思います。	行政においても伐採した竹などの処分費の問題があり、なにか有効活用できないか苦慮しているところです。
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	地域の活動について	竹林整備は県内でもなかなかうまくいっている事例が少ない。広く成功事例のPRをお願いしたい。	地元の新聞やテレビで取り上げられたり「手づくり郷土賞」への応募など積極的に独自にPRをされていると承知しています。今回のふれあいセミナーでも多くの方が興味を持たれています。また、鉄道会社の散策企画の予定ルートになっていたりとその活用方法や知名度はどんどん広がっています。

第6回木曾三川ふれあいセミナー 主なご意見

ご意見を頂いた方法	開催場所	分類	頂いたご意見	頂いたご意見に対する考え方
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	地域の活動について	大変な事業に感心しています。	地域の皆さんが問題意識をもたれて、積極的に活動されていることについて、我々行政としても出来る限り協力していきたいと思えます。
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	地域の活動について	○各ボランティア団体の活動資金の確保について 1. 各団体からの助成 2. イベント参加して参加費をいただく 3. 学校の総合学習の教代として少し頂くなどいろいろ工夫して資金集めるなど努力している。	活動を行うために、企業や団体からの助成や賛助、組織の会費からの捻出など努力されているようです。
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	ふれあいセミナーについて	毎回参加していますがとてもいい企画行事です。今後もつづけてください。	ありがとうございます。 今後も引き続きふれあいセミナーをタイムリーに実施して、地域の皆様と情報交換・意見交換したいと考えています。
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	ふれあいセミナーについて	今後も土日を利用した勉強会を開催して欲しい。	今後も引き続きふれあいセミナーをタイムリーに実施して、地域の皆様と情報交換・意見交換したいと考えています。
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	ふれあいセミナーについて	会場での質疑応答のみだと時間的にも限られるので、事前にテーマに沿った質問をメールで受けつけておいて、適宜回答に加える工夫もあるか。	ご意見ありがとうございます。より効果的な開催手法について検討したいと思います。
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	ふれあいセミナーについて	勉強になるセミナーでした。スタッフの皆さんありがとうございました。	ありがとうございます。 河川に関する様々な問題が、ふれあいセミナーでの情報交換・意見交換により、少しでも良い方向に進むことを期待します。
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	ふれあいセミナーについて	運営資金の捻出方法はどのようにしていますか。	ふれあいセミナーは河川管理者が呼びかけ人となって行っています。ポスター・チラシの作成や関係機関との調整・依頼など全て木曾川上流河川事務所の職員が行っています。
第6回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	可児市総合会館	ふれあいセミナーについて	ふれあいセミナーはすごくいいと思いました。また参加します。	ありがとうございます。 ぜひ参加して下さい。